

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	実習
科 目 名	救急処置法 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 金曜日1限	教室名	2校舎柔道場
担 当 教 員	原 和 泉	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
緊急時に行う応急手当と蘇生法を学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:70 % 2. レポート: % 3. グループワーク中の態度・発表:30 %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
適宜必要資料の配布を行います。						
《授業外における学習方法》						
各自練習を繰り返してください。						
《履修に当たっての留意点》						
知識・技術は積み重ねです。中途半端は現場で判断が出来なくなり、命にかかわります。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	包帯法、検脈ができる。	包帯	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること	
		各コマにおける授業予定	観察・検脈・包帯法			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	包帯法、検脈ができる。	包帯	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること	
		各コマにおける授業予定	包帯法・検脈			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	包帯法、検脈ができる。	包帯	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること	
		各コマにおける授業予定	包帯法・検脈			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	包帯法、検脈ができる。	包帯	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること	
		各コマにおける授業予定	包帯法・検脈			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	包帯法、検脈ができる。	包帯	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること	
		各コマにおける授業予定	包帯法・検脈			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	包帯法、止血ができる。	包帯	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること
		各コマにおける授業予定	包帯法・止血		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	骨折の救急固定法が出来る。	包帯	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること
		各コマにおける授業予定	骨折固定法		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	骨折の救急固定法が出来る。	包帯	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること
		各コマにおける授業予定	骨折固定法		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	搬送が出来る。	包帯、スパインボード	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること
		各コマにおける授業予定	搬送法		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	蘇生が出来る。	包帯	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること
		各コマにおける授業予定	蘇生法		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	蘇生が出来る。	包帯	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること
		各コマにおける授業予定	蘇生法		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	蘇生が出来る。	包帯	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること
		各コマにおける授業予定	蘇生法		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	救急処置が出来るようになる	包帯	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること
		各コマにおける授業予定	まとめ		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	救急処置ができるようになる	包帯	全講義の総復習を必ずすること
		各コマにおける授業予定	まとめ		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	救急処置ができるようになる	包帯	全講義の総復習を必ずすること
		各コマにおける授業予定	まとめ		